

平成 28 年度 微生物学教科担当教員会議 報告（日本薬学会第 137 年会、仙台）

日時: 平成 29 年 3 月 25 日 (土) 12:00~13:00

場所: 東北大学 川内キャンパス C 棟 201 (T 会場)

出席者: 全国大学薬学部において微生物学教育に携わる教員 61 名

配布資料

1. 平成 28 年度 微生物学教科担当会議議題
2. 第 29 回微生物シンポジウムポスター (資料 1)
3. 平成 28 年 (第 4 回) 教科担当教員中央会議 議事録 (資料 2)
4. 薬学会シンポジウム S38 「抗ウイルス感染症のフロンティア」案内 (資料 3)
5. 参加者名簿 (参考資料 1)
6. 微生物学教科担当教員会議 会則および会則に定められる世話人および各担当者
と任期 (参考資料 2) 平成 27 年度会議報告より
*5 及び 6 は後日メールにて配布

会議内容

1. 平成 29 年度微生物学教科担当教員事務局について

平成 29 年度は日本薬学会第 138 年会を開催する金沢大学の山下克美先生、伊従 光洋先生がご担当される旨報告があった。なお日本薬学会第 138 年会は 2018 年 3 月 25 日 (日) ~ 3 月 28 日 (水) の日程で金沢駅周辺会場を使用して開催されることが報告された。

2. 微生物シンポジウムについて 辻坊 裕 先生

微生物学シンポジウムは微生物学を専門にされている先生はもとより微生物学担当教員会議に集積されている先生方全員に出ていただきたい。

1) 平成 28 年度 第 28 回微生物シンポジウム終了報告

愛知学院大学 川村好章 先生

「感染制御-叡智を集約した新たな展開-」

2016 年 9 月 2 日 (金) ~ 3 日 (土) 会場: 愛知学院大学薬学部

2) 平成 29 年度 第 29 回微生物シンポジウム開催概要 (資料 1)

広島国際大学 山中浩泰 先生

「多様なフィールドで展開されている微生物研究とその可能性」

2017 年 8 月 29 日、30 日 会場: 広島国際大学 呉キャンパス

3) 平成 30 年度 第 30 回微生物シンポジウムについて

城西国際大学 平田 隆弘先生がご担当される旨報告された。

3. 教育に関して 同志社女子大 川崎清史先生（資料2）

モデルコアカリキュラムの改定に携わった。約5年後の次の改定に向けた作業の過程で、微生物学教科担当会議にて先生方の意見を集約する必要がある。そのため来年度は微生物学教科担当会議を重ねていく方向性を検討。アンケートを送付し意見をまとめる提案があり了承された。

4. 研究に関して 東北医科薬科大学 久下周佐（資料3）

薬学会年会の機会にシンポジウム「抗ウイルス研究のフロンティア」が継続して開催され、今年が5回目となり、薬学の異分野が融合した抗ウイルス薬開発の基礎研究を討論する場があることが紹介された。

5. 共用試験に関して 東京薬科大学 野口雅久先生

CBTの新たな問題作成は順番に6大学が作成にあっている。作成にあたってはSBOsを確認してください。複数のSBOにまたがった問題は内容が良くても廃問になるため注意が必要である。

6. その他

青木淳賢先生（東北大）平成29年度の微生物シンポジウムの日程が8月末になり、薬学領域の関連分野のシンポジウムが重ならない日程となったことが良かった、との発言があった。

7. 講演 「6・4制並立薬学における微生物学の教育と研究」

前立命館大学薬学部教授・岡山大学名誉教授 土屋 友房 先生

概要：

1) 微生物教員会議の歴史（過去と現在）

- ・30年前 微生物学担当教員の集まりがあったが、25年前に自然消滅（事務局が決まっていなかったことが理由として挙げられる）。
- ・20年前 関水先生と土屋先生により再興。
- ・15年前 関水先生、笹津先生、西野先生、土屋先生、森先生により会則を作成。
- ・10年前 微生物学教員会議会則を承認し、世話人、事務局、取り扱い事項を明確化。その後、薬学教育協議会の教員会議となり現在に至る。

2) 薬学部6・4年制並立制に変更された歴史的な背景

- ・6年制薬学部 コアカリができたことで教育は充実してきた。一方、研究には工夫が必要である。大学院進学を増やすことが大切。

- ・4年制創薬科学科に関しては、教育に関してはコアカリを作る必要がある。研究に関しては多くの学生が大学院に進み研究教育が可能。こちらの学科の研究が中心になっていく。

3) 微生物シンポジウムは1970年代より当初は隔年で開始され、45年以上の歴史があ

る。微生物と関連分野の研究の発展、およびこの分野の若手を育てる機会である。

13時に、拍手をもって閉会した。

以上

議事録作成
久下 周佐

大学名	微生物学教科担当教員会議		
	氏名	氏名	氏名
北海道薬科大学	若命 浩二		
青森大学	福井 雅之		
岩手医科大学	大橋 綾子		
東北大学	青木 淳賢		
東北医科薬科大学	久下 周佐	藤村 茂	
奥羽大学	堀江 均		
いわき明星大学	金 容必		
国際医療福祉大学	多田納 豊		
日本薬科大学	山岸 純一		
千葉大学	川島 博人		
東邦大学	福本 敦		
日本大学	小林 弘子		
東京理科大学	早川 洋一		
千葉科学大学	岡本 能弘		
城西国際大学	平田 隆弘	北村 昭夫	
帝京平成大学	斎藤 浩美		
東京大学	垣内 力		
北里大学	供田 洋	岡田 信彦	
慶應義塾大学	野口 耕司		
昭和大学	石野 敬子		
星薬科大学	築地 信		
東京薬科大学	野口 雅久	安達 禎之	石橋 健一
明治薬科大学	池田 玲子	杉田 隆	
昭和薬科大学	梶川 瑞穂		
横浜薬科大学	細野 哲司		
新潟薬科大学	中村 辰之介		
富山大学	守田 雅志		
金沢大学	山下 克美		
北陸大学	松原 京子		
静岡県立大学	今井 康之	三宅 正紀	
名古屋市立大学	長田 茂宏		
同志社女子大学	川崎 清史		
大阪薬科大学	辻坊 裕	宮本 勝城	
摂南大学	伊藤 潔		
大阪大谷大学	見坂 武彦		
神戸薬科大学	小西 守周		
武庫川女子大学	野坂 和人		
姫路獨協大学	川井 真好		
就実大学	塩田 澄子		
広島大学	黒田 照夫		
安田女子大学	西村 基弘		
広島国際大学	山中 浩泰		
松山大学	玉井 栄治		
九州大学	窪田 敏夫		
第一薬科大学	松原 大	小川 和加野	
福岡大学	鹿志毛 信広		
長崎大学	北里 海雄		
長崎国際大学	小川 由紀子		
崇城大学	横溝 和美		
九州保健福祉大学	黒川 昌彦	渡辺 渡	

計：60名

ご講演

土屋 友房先生